

2019年度事業報告書

及び

決算報告書

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月 31日

一般社団法人 日本歯車工業会

目 次

事業報告書

I. 概括	1
II. 実施事業	2
III. 研修会・会議の開催	6
IV. 会員動静	15
V. 会員名簿	16
VI. 役員名簿	17
VII. 組織図	18
VIII. 委員会名簿	19

決算報告書

I. 貸借対照表	21
II. 財産目録	22
III. 正味財産増減計算書	23
IV. 正味財産増減計算書内訳表	25
V. 財務諸表に対する注記	27
VI. 附属明細書	28
VII. 監査報告書	29

2019年度事業報告

I. 概括

2019年度の経済情勢は、世界的に設備投資需要が急減速し、関連する機械の生産にも減産の波及が及ぶ中、全体としても環境規制の変化や貿易の鈍化などの変化に対応する必要性に迫られ、半導体関連の底打ちなどにより上向きかけた景況感に支えられて自動化設備に一時的に明るさが見られたものの、工作機械、自動車等の生産にも手控え傾向が顕在化してくる中で推移した。更に年明け以降、新型肺炎が中国を起点として発生して以来、各国に影響が拡大すると共に安定した部品供給が確保できない状況に加え、サプライチェーンの断絶、物流網の再構築の必要性に対応しきれない状況で、消費活動の低迷を受けて、世界全体の経済活動そのものの停滞につながるリスクが顕在化する等、先行きの見通せない状況となっている。

一方、日本国内の動きとしては、新元号「令和」への改元と共に新たな時代への移行が様々な形で執り行われたが、社会経済面に於いては、大国間の貿易摩擦の長期化に伴う視界不良の中で、年度前半は全体としては緩やかな景気回復傾向が続いたものの、グローバル経済の影響を免れられず、世界の景気動向の下振れ圧力に軌を一にする動きとなっている。一方において、地政学的なリスク要因も見逃せない要因となっており、エネルギー価格の推移に注意を払う余地も依然として大きいまま推移した。年明け後発生した新型肺炎の影響は依然予測しづらいところもあるものの、一過性という面も否定できず、次世代通信関連の半導体需要の底堅い情勢を踏まえると、来年度は夏場以降の生産に挽回の兆しが期待されるところである。

歯車業界の状況もここ数年続いた生産高止まりの状況から一転して、内需、外需の動向に応じて、前年から引き続いた受注動向に見られたように減速傾向が顕著となる中で、生産にも力強さを欠いた年度後半の状況であった。但し、今後期待される半導体の次世代対応、自動車の電動化対応、生産設備のIT武装の投資等、なすべき課題も山積していることを考え合わせると、次年度への自動化投資と競争力強化の積極的な人的、設備的、それらを結ぶ知的生産様式への動機づけは高まっていると言わざるを得ない。

Ⅱ. 実施事業

1. 経営力強化、事業基盤の整備、人材の育成

1.1 歯車工業の経営の合理化に関する研究並びに調査

1.1.1 優良企業の見学会実施並びに各種改善活動事例の研修会、講演会の実施

「経営研修会」と称し、技術・人材開発、教育、経営管理等の実例に基づいた研修会、講演会を全国各地にて年3回開催。経営力・技術力の強化を目的とし、研修会を通して経営・技術上の有益な情報・知識を習得し、事業発展に生かした。また、会員同士の交流を深め、新たなビジネスチャンスを広げることにも寄与した。本年度は各企業にとって大きな経営課題となりつつある外国人材の活用に関する知見を高めるため、11月にベトナム視察を実施した。

1.1.2 若手経営者の経営戦略に関する研修、企業訪問、討議による研究会の実施

若手経営者研究会と称して、相互研鑽とネットワーク構築を含めた次世代経営者による歯車業界の技術者、経営者育成事業として年2回の研究会を株式会社三翔精工、大阪精密機械株式会社にて実施した。

1.2 技術伝承事業の実施並びに調査の継続実施

1.2.1 中核人材育成事業支援並びに技術支援を含む産学連携

「久留米工業高等専門学校と日本歯車工業会との連携・協力に関する協定」の締結

2016年5月20日、一般社団法人日本歯車工業会は、久留米工業高等専門学校との間で、連携・協力に関する協定調印式を行い、協定を締結した。

協定は、久留米高専と歯車工業会が歯車産業の振興発展及び工業人材育成に寄与することを目的とし、①歯車技術者の人材育成に関すること、②歯車企業に対する技術支援に関すること、③産学連携交流促進に関することが掲げられており、爾来、JGMAギャカレッジ基礎実習を中心として実践教育等を通じて、歯車技術者の育成に貢献しており、益々産学連携の重要度は増している。

1.2.2 中核人材育成事業への支援

「JGMAギャカレッジ（歯車技術講座）」

「JGMAギャカレッジ」は、若い世代の技術者に、過去から蓄積された普遍的な歯車技術・ノウハウを継承し、製造現場に知識・技術の速やかな導入を図ることにより、歯車産業界のグローバル競争力の維持・向上に貢献するという目的のもと、開講した。

上記は、2005年（平成17年）に九州大学大学院に、産官学連携事業として、「ものづくりスーパー中核人材センター」を設置（平成20年～、九州大学の自立事業として「ものづくり工学教育研究センター」に改称）、その中の「歯車製造コース」を当会が平成23年より継承し、今日に至る。

2005年に事業を開始し15年が経過、すでに600名以上の修了者を輩出した。修了者は歯車産業界の次世代を担う有望な人材として、現場実務の最先端で活躍している。

2019年度は、歯車技術を基礎から応用まで学ぶことができる以下の2コースを開講。

【JGMAギヤカレッジ マスターコース（基礎講座）】 定員30名

歯車の基礎・設計・製造に関する講義（必修）、体験により理解を深める現場実習（選択）から構成。

【JGMAギヤカレッジ プロフェッショナルコース（応用講座）】 定員20名

応用に重点をおいた歯車の設計・製造・性能評価に関する講義（必修）とトラブルシューティングの講義・演習（選択）から構成。

「JGMAギヤカレッジ・フォローアップ研修会」

JGMAギヤカレッジ終了生を対象に、幅広い技術交流並びに共通する技術的諸問題の解決等、企業間を越えた新たな連携・協力体制の構築を支援する目的のもと、JGMAギヤカレッジを補完する新規事業として2016年度に立ち上げ、2019年度は二回の研修会を開催した。

1.2.3 技術伝承事業の実施

高度な技術を要する歯車製造分野において、高齢化とそれに伴う後継者へのパトタッチの問題でその伝承が難しくなって来ている。そのため歯車の基礎的技術からの教育・伝承等を目的とした各支部の活動が活発になるよう支援している。

1.3 技術関連研修会

中堅技術者の教育訓練を目的に、大学教授・業界の第一線技術者より講師を選定、目的に添った演題を設定し、日本機械学会と1回協賛開催した。

1.4 研究開発事業

「歯車用鉄鋼材料の適正且つ効率的な評価手法の開発」

－ 金属性状評価法プロジェクト (JGMATE)－

平成28年度にスタートした本事業は、国際競争力を高める強力な武器とすることを目的に、機械装置の性能を支える歯車用鉄鋼材料の品質を効率的に且つ適正に評価できる新開発の検査装置を基に実使用鋼材のフィールドでの有用性を担保・確立するための新評価法確立と合わせて、当該の評価法を日本製の機械装置の性能向上と鉄鋼品質安定化に寄与、将来の新JIS規格原案作成をめざし活動を行った。

4年目の2019年度には、JKA補助及び会員企業の皆様よりご寄付頂いた資金を基に、昨年度製作した装置による新たな鋼材データを収集、蓄積を図った。また、昨年設置されたJGMA規格制定委員会により積み上げられた測定データおよび知見を基に歯車用鋼材の新評価手法としてのJGMA規格化について審議を行い、年度末に「JGMA 9901-01 歯車用鋼材のマイクロビッカース硬さ分布の多点測定法とその評価」と題して規格を制定し、発行することができた。

今年度は3回の運営委員会及び状況に応じて小委員会を開催し、JGMATEpj及びJKA補助事業の方針決定、進捗管理他を行った。

本開発の規格化に向けた最終審議の場として規格制定委員会を1回開催した。規格化途中段階での審議は委員長より審議案件を各委員にメール発信し、意見徴収・審議する「メール会議」の形で実施した。

2. 国際交流事業

2.1 海外視察の実施

海外における歯車の最新技術の動向調査、並びにグローバル化への対応力向上を目的として、今年度も海外視察団を編成し、ドイツ、スイスを訪問した。今回の視察先はZFフリードリヒスハウエン本社、ライスハウアー本社に訪問し、帰国後視察報告書を作成し当会HPに掲載した。

3. 標準化事業

歯車規格にはISO、JIS、JGMA、DIN、AGMA、BS、更には各社独自の規格が有り、それぞれ供給先の選択に委ねられる。これは各規格の信頼性の高さはもとより、各国の事情並びに歴史的な背景によるものも大きい。

日本歯車工業会は、国際標準化機構(ISO)の歯車に関する技術委員会(TC60)の国内審議団体として国際規格に関する審議、JISの原案作成、JGMAの改訂等、歯車全般に関する標準化事業を実施している。

3.1 歯車工業会規格(JGMA規格)の審議・承認

JGMA T E p j の JGMA規格制定委員会より提案された JGMA規格「JGMA 9901-01 歯車用鋼材のマイクロビッカース硬さ分布の多点測定法とその評価」を標準化委員会にて審議し、承認した。

3.2 国際標準化「ISO/TC60(歯車)国際規格」への対応

歯車及び歯車装置関係の国際規格の制・改定にあたっては、当会は日本を代表する唯一の機関として、経済産業省産業技術環境局より国際規格原案の作成委託を受けている。

当会ではISO/JIS審議委員会が中心となり、大学教授・学識経験者、業界関係者の各委員を国際会議に派遣し、日本の意見を反映しつつ国際規格の作成、改訂に参画した。

また国際規格制・改訂を進めるための段階的審議「CD/DIS」投票、定期見直し等各種投票に積極的に参加し、国際協調に努めた。

11月にはISO国際会議TC60/WG2及びSC1/WG4が東京にて開催され、主催国担当として当工業会が種々セッティングを行い、成功裏に終了した。

3.3 「JIS B1702-3:2020 円筒歯車—精度等級—第3部」原案作成

成形プラスチック歯車部会の委員で構成されたJIS原案作成委員会により、題記JIS規格の改正作業を実施し、事業年度末に日本規格協会に提出、完了した。

3.4 標準化委員会の開催

本年度より規格のグローバル化に対応するため新たな規格に関する審議運営組織「標準化委員会」として立ち上げ、本年度は3回の委員会を開催し、ISO国際会議派遣新メンバーの選任、新JGMA規格の審議等を行った。

4. 工業会事務局活動の充実

4.1 歯車関連製品に関する生産、流通等の調査

会員企業並びに歯車産業界における、歯車関連製品の生産動向並びに需要先別調査を継続して行い、業界動向把握、データ解析のうえ会員企業に提供した。

4.2 広報・PR事業

工業会の活動状況等の情報を会員企業や学術教育研究機関、ホームページや機関誌にて広く提供することにより、関連産業の高度化に貢献した。

4.2.1 機関誌の発行並びにホームページの充実

機関誌「JGMA News」（季刊・年2回）を継続発行し、歯車産業に関する各種最新情報及び話題、関連業界の動向、経済産業省の各種施策、工業会活動報告等を広く情報提供した。

また、会員情報や書籍販売の最新情報をホームページにて提供した。

5. その他

5.1 支部活動の強化、会員の増強

歯車工業会各支部活動並びに各地域で活躍する懇話会等の活動に、身近な活動として参加し、情報交換と協調関係を構築の上、地域並びに業界全体の活性化につなげるための活動を支援した。また、工業会活動の充実並びに歯車産業の発展に寄与するために会員拡充を行い、2019年度は新たに4社が入会した。

5.2 各種団体保険の加入促進

当会にて従来から制度化している「団体PL保険」並びに「団体生命保険」について、さらに多くの会員企業に有効的に活用していただくため、加入促進活動を行った。

両制度の継続と規模メリットを享受していただくため、今後もいっそう活動を強化する。

5.3 生産性向上設備投資促進税制の取組み

産業競争力強化法（平成25年法律第98号）の規定に基づく先端設備に該当する旨の証明書を発行する団体として、引き続き、証明書発行サービス等の事業を実施する。

以上

Ⅲ. 研修会・会議等の開催

1. 通常総会

[第 62 回通常総会]

開催日：2019 年 5 月 24 日（金）

場 所：岐阜県下呂市 下呂温泉 水明館

議 案：第 1 号議案 2018 年度事業報告（案）の承認について
第 2 号議案 2018 年度決算報告（案）の承認について
第 3 号議案 2019 年度事業計画（案）の承認について
第 4 号議案 2019 年度収支予算（案）の承認について
第 5 号議案 任期満了に伴う役員改選の件

2. 理事会

[2019 年度 第 1 回理事会]

開催日：2019 年 4 月 19 日（金）

場 所：東京 機械振興会館

出席者：栄野隆会長はじめ理事 13 名、監事 1 名、オブザーバー 4 名、事務局 1 名

来 賓：経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 工藤 勉様

審議事項：1) 2019 年度組織体制の件
2) 平成 30 年度決算報告・事業報告の件
3) 2019 年度日本歯車工業会の重点事業
4) 金属性情評価プロジェクト予算及び目標について

協議事項：1) 役員交代の件

報告事項：1) 2019 年 JGMA 海外視察ご案内
2) その他

[2019 年度 第 2 回理事会]

開催日：2019 年 5 月 24 日（金）

場 所：岐阜県下呂市 下呂温泉 水明館

出席者：栄野隆会長はじめ理事 10 名、監事 1 名、事務局 1 名

審議事項：1) 役員改選に伴う役付役員選任について
2) 入会申込書

[2019 年度 第 3 回理事会]

開催日：2019 年 7 月 5 日（金）

場 所：東京 機械振興会館

出席者：栄野会長はじめ 理事 18 名、監事 2 名、オブザーバー 1 名、事務局 1 名

来 賓：経済産業省 製造産業局産業機械課 係長 渡部 圭次様

審議事項：1) 2019 年度日本歯車工業会の事業方針及び組織体制
2) 各委員会の事業計画策定
3) 総務委員会規定の改定

4) 新規入会の承認について

報告事項：1) 歯車製造便覧、JGMA 規格集 (DVD) の販売状況について

2) 統計資料について

3) その他

[2019 年度 第 4 回理事会]

開催日：2019 年 9 月 27 日 (金)

場 所：大阪 メルパルク OSAKA

出席者：栄野隆会長はじめ理事 17 名、監事 1 名、事務局 1 名

来 賓：経済産業省 製造産業局 産業機械課 係長 渡部 圭次様

審議事項：1) JGMATEプロジェクトの今後の活動計画

2) 表彰制度について

協議事項：1) ISO国際会議東京開催

2) 2020年度賀詞交歓会について

3) 新会員勧誘について

報告事項：1) 委員会活動中間状況報告

2) 支部企画

3) その他

[2019 年度 第 5 回理事会]

開催日：2019 年 12 月 6 日 (金)

場 所：東京 機械振興会館

出席者：理事 16 名、監事 2 名、事務局 1 名

来 賓：経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 安田正一様

経済産業省 製造産業局 産業機械課 係長 渡部 圭次様

審議事項：1) 歯車工業会規定改定の件

2) 新規入会の承認の件

協議事項：1) ギヤカレッジ募集方法の件

2) 2020 年度年間計画の件

報告事項：1) 2019 年度予算中間実績報告

2) 景況報告

3) その他

[2019 年度 第 6 回理事会]

開催日：2020 年 3 月 19 日 (木) 書面にて決議

審議事項：1) 予算見通しと来年度事業計画

2) 新規入会の承認について

報告事項：1) JGMA規格発行(JGMATEプロジェクト)

3. 委員長会議の開催

[2019 年度 第 1 回委員長会議]

開催日：2019年4月19日（金）

場 所：東京 機械振興会館

出席者：栄野隆会長はじめ副会長3名、委員長5名、事務局1名 計10名

議 題：1) 2018年度決算報告の件

2) 理事会進行の件

3) 今後の工業会運営

① 規格委員会の改編

② 表彰検討委員会の設置

③ 2019年度事務局体制強化

[2019年度 第2回委員長会議]

開催日：2019年6月21日（金）

場 所：東京 機械振興会館

出席者：栄野隆会長はじめ副会長3名、委員長4名、事務局1名 計9名

議 題：1) 新組織（委員会）の主旨説明と事業計画

2) 各委員会の今年度の事業計画報告

3) 各事業の課題と今後の対応について

[2019年度 第3回委員長会議]

開催日：2019年9月27日（金）

場 所：大阪 メルパルク大阪

出席者：栄野隆会長はじめ副会長2名、委員長5名、事務局1名 計9名

議 題：1) 表彰検討委員会 活動報告と今後の活動について

2) 中日本支部企画 会員企業工場見学

3) 西日本支部企画 賀詞交歓会

4) ISO 国際会議東京開催

5) 賀詞交歓会

6) 年間計画

[2019年度 第4回委員長会議]

開催日：2019年12月6日（金）

場 所：東京 機械振興会館

出席者：栄野隆会長はじめ副会長2名、委員長5名、事務局1名 計9名

議 題：1) 2019年度予算中間実績報告

2) ギヤカレッジ募集方法及び歯車工業会規定改定の件

3) 2020年度年間計画の件

4) 会費見直しについて

[2019年度 第5回委員長会議]

開催日：2020年2月20日（木）

場 所：石川 小松市

出席者：栄野隆会長はじめ副会長2名、委員長6名、事務局1名 計10名

- 議 題：1)2019 年度各委員会・支部実績
2)2020 年度事業計画審議
3)会費について

[2019 年度 第 6 回委員長会議]

開催日：2020 年 3 月 19 日（木）

場 所：東京 機械振興会館

出席者：栄野隆会長はじめ副会長 2 名、委員長 5 名、事務局 1 名 計 9 名

- 議 題：1) 2020 年度事業予算・収支予算
2) 新会員入会の件
3) JGMATE プロジェクト/JGMA 規格発行の報告

4. 経営研修会の開催

[第 36 回経営研修会]

開催日：2019年7月18日（木）～19日（金）

場 所：株式会社日立ニコトランスミッション加茂事業所・株式会社長岡歯車製作所

講演会 テーマ：「日立ニコ 加茂事業所のモノづくり改革」

テーマ：「榑長岡歯車製作所の株式承継について」

参加者 37 名

[第 37 回経営研修会]

開催日：2019 年 11 月 12 日（火）～16 日（土）

場 所：ベトナム・ハノイ

参加者 20 名

[第 38 回経営研修会]

開催日：2020 年 2 月 20 日（木）

場 所：小松製作所栗津工場

工場見学、講演会、コマツの杜

参加者 31 名

5. 海外調査・対応委員会

[2019 年度 JGMA 米国歯車業界視察]

開催日：2019 年 9 月 15 日（日）～9 月 22 日（日）

場 所：ドイツ・スイス

内 容：EMO Hannover 国際金属加工見本市

企業視察：ZF フリードリヒスハーウエン本社・ライスハウアー本社

参加者：植田昌克団長をはじめ、合計 21 名

6. ギヤカレッジ企画・運営委員会の開催

[第1回 JGMA ギヤカレッジ企画・運営委員会]

開催日：2019年5月31日（金）

場 所：機械振興会館

- 議 題：1) 前回議事録の確認
2) 平成30年度 JGMA ギヤカレッジ実施報告
3) 2019年度 JGMA ギヤカレッジの実施について

出席者：田中委員長はじめ委員計11名

[第2回 JGMA ギヤカレッジ企画・運営委員会]

開催日：2019年10月15日（火）

場 所：機械振興会館

- 議 題：1) 前回議事録の確認
2) 2019年度 JGMA ギヤカレッジ実施報告(中間報告)
3) 2020年度の JGMA ギヤカレッジの実施について

出席者：田中委員長はじめ委員計11名

[第3回 JGMA ギヤカレッジ企画・運営委員会]

開催日：2020年2月13日（木）

場 所：機械振興会館

- 議 題：1) 前回議事録の確認
2) 2019年度 JGMA ギヤカレッジ実施報告
3) 2020年度 JGMA ギヤカレッジ実施計画について
4) JGMA ギヤカレッジ受講者選抜に係わる細則(案)の審議

出席者：田中委員長はじめ 計12名

7. ギヤカレッジ・フォローアップ研修会企画・運営委員会の開催

7.1 企画・運営委員会

[第1回 ギヤカレッジ・フォローアップ研修会企画・運営委員会]

開催日：2019年5月13日（月）

場 所：機械振興会館

- 議 題：1) 第6回 ギヤカレッジ・フォローアップ研修会の実施について
2) 委員の増員について
3) 今後の運営について

出席者：加納委員長はじめ 計7名

[第2回 ギヤカレッジ・フォローアップ研修会企画・運営委員会]

開催日：2019年7月4日（木）

場 所：機械振興会館

- 議 題：1) 第5回 ギヤカレッジ・フォローアップ研修会の活動報告
2) 第6回 ギヤカレッジ・フォローアップ研修会の実施について

3)今後の運営について

出席者：加納委員長はじめ 計 10 名

[第 3 回ギヤカレッジ・フォローアップ研修会企画・運営委員会]

開催日：2018年10月28日（月）

場 所：機械振興会館

議 題：1)前回議事録の確認

2)第6回ギヤカレッジ・フォローアップ研修会の実施について

3)今後の運営について

出席者：加納委員長はじめ 計 11 名

7.2 研修会

[第 6 回ギヤカレッジ・フォローアップ研修会]

開催日：2019年8月23日（金）

場 所：機械振興会館

議 題：テーマ「歯車の材料」

講師：京都大学名誉教授 久保 愛三様

（公益財団法人応用科学研究所 理事長）

参加者：21 名

[第 7 回ギヤカレッジ・フォローアップ研修会]

開催日：2020年2月7日（金）

場 所：株式会社神崎高級工機製作所

議 題：テーマ「騒音、伝達誤差について」

講師：東京工業大学 名誉教授 北條 春夫様

参加者：29 名

8. 技術・企画事業委員会の開催

[第 3 回 若手経営者研究会]

開催日：2019年7月12日（金）

場 所：株式会社三翔精工（オージック・グループ会社）

議 題：会社概要 / 工場見学 / 経営体験発表 / 事業戦略説明

出席者：栄野会長はじめ10名

[第 4 回 若手経営者研究会]

開催日：2019年11月7日（木）

場 所：大阪精密機械株式会社

議 題：会社概要 / 工場見学 / 経営体験発表 / 事業戦略説明

出席者：栄野会長はじめ11名

歯車技術研修会(協賛開催)

2019年度 歯車技術基礎講座（日本機械学会との協賛）

開催日：11月14日（木）11月16日（金）

9. JGMATE プロジェクト事業推進委員会の開催

[2019年度 第1回事業推進委員会]

開催日：2019年5月14日（月）

場 所：東京 機械振興会館

出席者：栄野会長はじめ 8名

[2019年度 第2回事業推進委員会]

開催日：2019年7月23日（火）

場 所：東京 機械振興会館

出席者：栄野会長はじめ 7名

[2019年度 臨時事業推進委員会]

開催日：2019年9月5日（火）

場 所：東京 機械振興会館

出席者：栄野会長はじめ 5名

10. 標準化委員会

[2019年度 第1回委員会]

開催日：2019年7月8日（月）

場 所：機械振興会館

議 題：1) 標準化委員会の活動計画

2) ISO対応報告

3) JIS対応報告

4) JGMA規格対応

5) その他

[2019年度 第2回委員会]

開催日：2019年11月1日（金）

場 所：機械振興会館

議 題：1) ISO対応報告

2) JIS規格対応報告

3) JGMA規格対応報告

4) その他

[2019年度 第3回委員会]

開催日：2020年2月6日（木）

場 所：機械振興会館

- 議 題：1) ISO国際会議報告
2) ISO投票について
3) JIS規格対応
4) JGMA規格対応
外部問合せ対応報告
JGMA 9901：2020 規格化審議

11. 成形プラスチック委員会

[2019年度 第1回委員会]

開催日：2019年5月27日(月)
場 所：京都工芸繊維大学
議 題：JISB1702-3 原案の審議

[2019年度 第2回委員会]

開催日：2019年9月2日(月)
場 所：京都工芸繊維大学
議 題：JISB1702-3 原案の審議

[2019年度 第3回委員会]

開催日：2019年10月21日(月)
場 所：京都工芸繊維大学
議 題：JISB1702-3 原案の審議

12. 表彰検討委員会

開催日：2019年8月1日(火)
場 所：東京 機械振興会館
出席者：栄野会長、寶角支部長他 2名

13. 総務委員会

12.1 日本フルードパワー工業会との協賛でセミナー開催

[2019年度 第1回]

講 題：リスク管理
開催日：2019年11月 8日 (水)
場 所：機械振興会館

[2019年度 第2回]

講 題：職務分析・職務評価とは
開催日：2020年 2月 5日 (水)
場 所：機械振興会館

12.2 日本歯車工業会規定の制定・改定

工業会規定を現在の歯車工業会の運用状況を見極め・見直しを行い、総務委員会要綱を7月、会計処理規定を9月、委員会規定を12月に改定した。

14. 支部活動

[東日本支部活動]

開催日：2019年8月22日（木）
場 所：株式会社 KHK 野田
テーマ：工場見学、歯車入門勉強会
参加者 33名

[中日本支部活動]

開催日：2019年10月16日（水）
場 所：トヨタ自動車株式会社
テーマ：工場見学会、懇親会
参加者 20名

[西日本支部活動]

開催日：2020年1月24日（金）
場 所：大阪商工会議所「ニューコクサイ」
出席者：会員43名
来 賓：経済産業省 近畿経済産業局 産業部 製造産業課 課長 小橋厚司氏
式次第：第一部：新春特別記念講演会
 テーマ「社会人ドクターによる歯車業界の活性化について」
 株式会社オージック 歯車事業部技術開発部次長工学博士 濱田成則氏
 訪米報告 2019年度 JGMA 海外視察団 欧州歯車業界視察
 株式会社植田鉄工所 植田昌克社長（日本歯車工業会副会長）
 第二部：懇親会

15. 賀詞交歓会等の開催

[新年賀詞交歓会並びに新春特別記念講演会]

開催日：2020年1月17日（金）
場 所：東海大学校友会館 「望星の間」
出席者：会員132名
来 賓：参議院議員 元自由民主党 税制調査会 会長 元経済産業大臣 宮沢 洋一氏
 経済産業省 大臣官房審議官（製造産業局担当） 上田 洋二氏
式次第：新年賀詞交歓会

16. その他

近畿歯車懇話会70周年記念講演会に出席

開催日：2019年10月11日（金）

場 所：ホテルグランヴィア大阪

出席者：会員 4名

IV 会員動静

1. 2019 年度新入会員

入会年月日	会社名	代表者	所在地	備考
2019年5月24日	パーカー加工株式会社	宮脇 憲	東京都中央区日本橋 1-15-1	賛助会員
2019年7月5日	北井産業株式会社	北井 正之	埼玉県白岡市下大崎字星川端 860-1	賛助会員
2019年12月6日	株式会社ソーシン	田中 一香	埼玉県入間市寺竹 1115-1	正会員
2020年3月19日	東陽建設工機株式会社	田中 康雄	大阪府大阪市大正区三軒茶屋 2-4-15	賛助会員

2. 2019 年度退会会員

退会年月日	会社名	代表者	所在地	備考
2019年5月30日	有限会社河島ギア製作所	志村 英俊	茨城県守谷市野木崎 1810-1	正会員
2019年9月30日	株式会社三宅精機	三宅 英之	愛知県名古屋市中区東又兵衛町 1-57-1	正会員
2019年9月30日	株式会社ニコソ	馬立 稔和	東京都港区港南 2-15-3 品川インターシティC棟	賛助会員

3. 会員数の動向

	2018 年度末	新入会員数	退会員数	2019 年度末
正会員	91	1	2	90
賛助会員	31	3	1	33
合 計	122 社	4 社	3 社	123 社

V. 会員名簿

(2020年3月31日現在五十音順法人格省略)

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社
株式会社浅野歯車工作所
株式会社浅野歯車製作所
アヅミ株式会社
株式会社アベックス
アムテック有限会社
株式会社池田歯車製作所
磯上歯車工業株式会社
有限会社伊藤歯車製作所
株式会社稲坂歯車製作所
株式会社イワサテック
株式会社植田鉄工所
宇野歯車工業株式会社
株式会社恵美須屋工具製作所
MHIハセック株式会社
大久保歯車工業株式会社
株式会社大阪減速機製作所
大阪精密機械株式会社
株式会社大阪歯切工場
株式会社岡田歯車工作所
株式会社岡常歯車製作所
岡本工業株式会社
株式会社小笠原プレジジョンラボラトリー
尾崎ギヤー工業株式会社
株式会社小名木川ギヤー
オリエンタルモーター株式会社
株式会社オンド
オークマ株式会社
株式会社オージック
株式会社オーネックス
株式会社カシフジ
カツミ工作所
株式会社カワグチキカイ
株式会社川島製作所
株式会社神崎高級工機製作所
株式会社菊伊歯車
菊地歯車株式会社
北井産業株式会社
九州精密工業株式会社
協育歯車工業株式会社
京都ダイヤモンド工業株式会社

株式会社京二
株式会社共和歯車製作所
岐阜ギヤー工業株式会社
株式会社ギヤテック
株式会社日下歯車製作所
株式会社栗崎歯車製作所
グリーンソン アジア株式会社
高周波熱錬株式会社
株式会社功晴精密
神戸歯車株式会社
株式会社コウリツ
株式会社古賀歯車製作所
小原歯車工業株式会社
坂西精機株式会社
三輪工機株式会社
品川重工株式会社
株式会社島製作所
株式会社ジェイテクト
住友重機械ギヤボックス株式会社
株式会社精密歯研工業所
清和鉄工株式会社
泉州歯車工業株式会社
株式会社ソーシン
滝沢歯車株式会社
竹田商事株式会社
第一高周波工業株式会社
大和歯車製作所株式会社
株式会社椿本チエイン
DTR JAPAN 株式会社
DMG森精機株式会社
株式会社東京テクニカル
東陽建設工機株式会社
東洋電機製造株式会社
株式会社常磐
株式会社ときわ歯車製作所
トヨタ自動車株式会社
株式会社トヨフク
株式会社TONEZ
株式会社中西製作所
有限会社中村製作所
株式会社長岡歯車製作所

永田鉄工株式会社
株式会社ナゴヤギヤ
株式会社ナミキツァーラート
鳴滝工業株式会社
新潟歯車株式会社
株式会社日伸歯車工業
株式会社ニッセイ
日本ギア工業株式会社
日本クリンゲルンベルグ株式会社
株式会社日本ジェット
日本製鉄株式会社
有限会社八龍歯車工作所
浜井産業株式会社
阪神動力機械株式会社
株式会社ハーティス
株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
パーカー加工株式会社
株式会社日立ニコトランスミッション
福山熱錬工業株式会社
株式会社フューチュアテック
株式会社賣角ギヤー
株式会社前田精密製作所
株式会社マキシコー
松本精機株式会社
株式会社三橋歯車製作所
三菱重工工作機械株式会社
株式会社宮川歯輪
株式会社都精機
名東歯車株式会社
株式会社元久保工作所
株式会社森歯車工作所
株式会社安川製作所
株式会社山崎歯車製作所
ヤマザキマザック株式会社
豊精密工業株式会社
株式会社ユニテックギア
株式会社淀川歯車製作所
ライスハウアー株式会社
菱栄金属株式会社
リープヘル・ジャパン株式会社
レイボルド株式会社

VI. 役員名簿

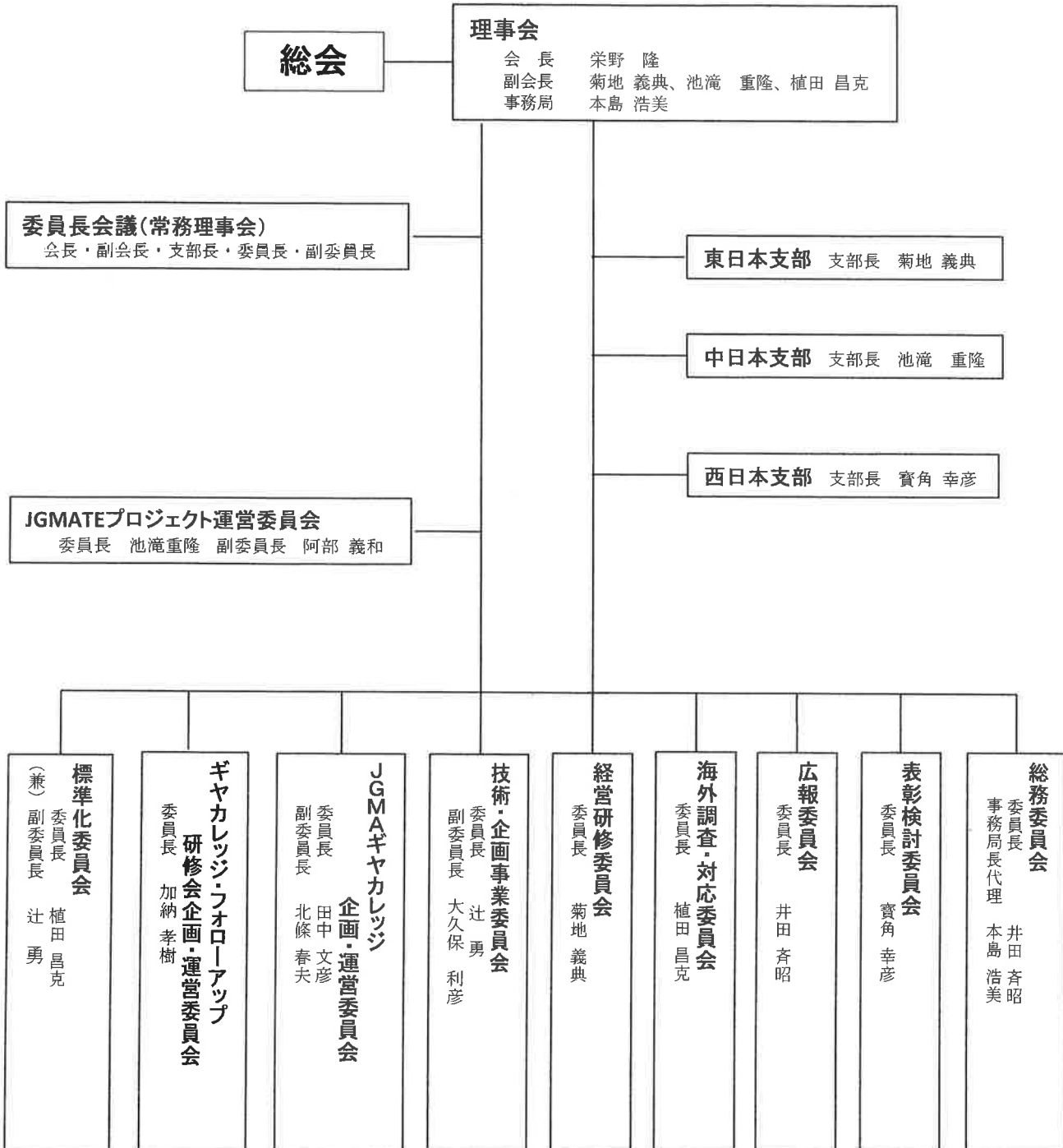
(2020年3月31日現在)

会長	栄野隆	株式会社日立ニコトランスミッション	顧問
副会長	菊地義典	菊地歯車株式会社	代表取締役社長
副会長	池滝重隆	豊精密工業株式会社	専務取締役
副会長	植田昌克	株式会社植田鉄工所	代表取締役社長
理事	寶角幸彦	株式会社寶角ギヤー	代表取締役会長
理事	辻勇	株式会社イワサテック	代表取締役社長
理事	大久保利彦	大久保歯車工業株式会社	常務取締役
理事	田口哲也	大阪精密機械株式会社	代表取締役
理事	田中文彦	株式会社オージック	代表取締役社長
理事	宇根宏	岡本工機株式会社	取締役 技術部長
理事	高橋丈助	株式会社カワグチキカイ	代表取締役社長
理事	喜多裕	株式会社神崎高級工機製作所	取締役
理事	松波俊宣	岐阜ギヤー工業株式会社	代表取締役会長
理事	小原敏治	小原歯車工業株式会社	代表取締役
理事	井田斉昭	協育歯車工業株式会社	代表取締役
理事	津井克巳	大和歯車製作株式会社	代表取締役社長
理事	加納孝樹	株式会社長岡歯車製作所	常務取締役
理事	植草雄一郎	株式会社中西製作所	技術顧問
理事	猪村美之	株式会社ナゴヤギア	代表取締役会長
理事	入江政幸	株式会社マキシンコー	取締役
理事	中西浩	松本精機株式会社	取締役社長
監事	小松滋	株式会社浅野歯車工作所	顧問
監事	矢都木力	株式会社都精機	代表取締役

Ⅶ. 組織図

(2020年3月31日現在)

JGMA組織体制



VIII. 委員会名簿

(2020年3月31日現在)

委員長会議

会長	栄野 隆	株式会社日立ニコトランスミッション
副会長	菊地 義典	菊地歯車株式会社
副会長	池滝 重隆	豊精密工業株式会社
副会長	植田 昌克	株式会社植田鉄工所
支部長	竇角 幸彦	株式会社竇角ギヤー
技術・企画委員会	辻 勇	株式会社イワサテック
技術・企画委員会	大久保 利彦	大久保歯車工業株式会社
ギヤカレッジ企画・運営委員会	田中 文彦	株式会社オージック
ギヤカレッジ・フォローアップ 研修会規格運営委員会	加納 孝樹	株式会社長岡歯車製作所
広報、総務委員会	井田 斉昭	協育歯車工業株式会社
事務局	本島 浩美	日本歯車工業会

JGMA ギヤカレッジ企画・運営委員会

委員長	田中 文彦	株式会社オージック
副委員長	北條 春夫	東京工業大学 名誉教授
幹事	竹田 龍平	大阪精密機械株式会社
委員	五十川 慎吾	豊精密工業株式会社
委員	小原 吉広	小原歯車工業株式会社
委員	鈴木 淳一	大久保歯車工業株式会社
委員	高橋 信雄	菊地歯車株式会社
委員	松波 信之	岐阜ギヤー工業株式会社
委員	西岡 正朗	株式会社カシフジ
委員	鍋倉 正和	三菱重工工作機械株式会社
委員	石丸 良平	久留米工業高等専門学校 教授
アドバイザー	久保 愛三	京都大学 名誉教授
事務局	林 洋二郎	日本歯車工業会

ギヤカレッジ・フォローアップ研修会企画・運営委員会

委員長	加納 孝樹	株式会社長岡歯車製作所
アドバイザー	北條 春夫	東京工業大学 名誉教授
会長	栄野 隆	日本歯車工業会
委員	井上 徹夫	株式会社シマノ
委員	秋葉 智仁	株式会社神崎高級工機製作所
委員	河野 哲也	株式会社日立ニコトランスミッション
委員	萩原 寛佳	株式会社共和歯車製作所
委員	喜多 友哉	株式会社オージック
委員	牛久 了嘉	協育歯車工業株式会社
委員	寺村 好勝	オリエンタルモーター株式会社
事務局	伊川 布美子	日本歯車工業会

JGMATE プロジェクト事業推進委員会

会長	栄野 隆	日本歯車工業会
委員長	池滝 重隆	豊精密工業株式会社
副委員長	阿部 義和	株式会社イワサテック
委員	久保 愛三	公益財団法人応用科学研究所
委員	成宮 明	公益財団法人応用科学研究所

委員	古川 浩一	株式会社イワサテック
事務局	本島 浩美	日本歯車工業会
事務局	武 敬	日本歯車工業会

標準化委員会

委員長	植田 昌克	株式会社植田鉄工所
副委員長	辻 勇	株式会社イワサテック
顧問	北條 春夫	東京工業大学 名誉教授
顧問	森脇 一郎	京都工芸繊維大学 教授
幹事	竹田 龍平	大阪精密機械株式会社
委員	中島 隆	ベアーズエンジニアリング株式会社
委員	稲垣 輝昭	MHI ハセック株式会社
委員	中西 勉	宮崎大学 名誉教授
委員	近藤 余範	国立研究開発法人産業技術総合研究所
委員	川崎 一正	新潟大学 准教授
事務局	武 敬	日本歯車工業会

成形プラスチック歯車部会

委員長	森脇 一郎	京都工芸繊維大学 教授
幹事	上田 昭夫	アムテック有限会社
委員	安田 正一	経済産業省 製造産業局 産業機械課
委員	上山 大治郎	日本規格協会
委員	小出 隆夫	鳥取大学 教授
委員	扇谷 保彦	長崎大学 准教授
委員	岩井 崇	日本精工株式会社
委員	加田 雅博	ポリプラスチック株式会社
委員	西田 建次	住友化学株式会社
委員	竹田 龍平	大阪精密機械株式会社
委員	平田 明久	スターライト工業株式会社
委員	中村 俊明	ダイセル・エボニック株式会社
委員	平田 明久	スターライト工業株式会社
委員	朝見 芳弘	ダイセル・ポリマー株式会社
委員	筑後 了治	住友重機械工業株式会社
事務局	武 敬	日本歯車工業会

表彰検討委員会

委員長	寶角 幸彦	株式会社寶角ギヤー
幹事	栄野 隆	株式会社日立ニコトランスミッション
委員	菊地 義典	菊地歯車株式会社
委員	池滝 重隆	豊精密工業株式会社
委員	植田 昌克	株式会社植田鉄工所
委員	辻 勇	株式会社イワサテック
委員	大久保 利彦	大久保歯車工業株式会社
委員	田中 文彦	株式会社オージック
委員	加納 孝樹	株式会社長岡歯車製作所
委員	井田 斉昭	協育歯車工業株式会社
事務局	本島 浩美	日本歯車工業会

貸借対照表
2020年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	52,268,805	25,677,866	26,590,939
棚卸資産	1,638,812	1,505,185	133,627
前払金	611,005	577,383	33,622
立替金	660,000	0	660,000
未収金	4,017,526	12,960,445	△ 8,942,919
流動資産合計	59,196,148	40,720,879	18,475,269
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	1,133,000	704,000	429,000
金属性状評価事業積立金	5,016,270	6,402,639	△ 1,386,369
什器備品	15,066,810	20,089,080	△ 5,022,270
特定資産合計	21,216,080	27,195,719	△ 5,979,639
(2) その他固定資産			
什器備品	199,167	290,811	△ 91,644
ソフトウェア	365,220	900,630	△ 535,410
電話加入権	116,000	116,000	0
敷金	1,306,740	1,306,740	0
出資金	0	1,000	△ 1,000
その他固定資産合計	1,987,127	2,615,181	△ 628,054
固定資産合計	23,203,207	29,810,900	△ 6,607,693
資産合計	82,399,355	70,531,779	11,867,576
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	393,822	1,586,521	△ 1,192,699
前受金	242,000	0	242,000
預り金	99,176	524,334	△ 425,158
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	484,700	740,600	△ 255,900
流動負債合計	1,289,698	2,921,455	△ 1,631,757
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,133,000	704,000	429,000
固定負債合計	1,133,000	704,000	429,000
負債合計	2,422,698	3,625,455	△ 1,202,757
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金等	7,533,405	10,044,540	△ 2,511,135
負担金	12,549,675	16,447,179	△ 3,897,504
指定正味財産合計	20,083,080	26,491,719	△ 6,408,639
(うち特定資産への充当額)	(20,083,080)	(26,491,719)	6,408,639
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	79,976,657	66,906,324	13,070,333
負債及び正味財産合計	82,399,355	70,531,779	11,867,576

財産目録
2020年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金	現金	手許資金として	350,303
		普通預金		
		みずほ銀行 神谷町支店	運転資金として	8,380,276
		みずほ銀行 神谷町支店	運転資金として	9,806,068
		みずほ銀行 神谷町支店	運転資金として	3,386,435
		三井住友銀行 日比谷支店	運転資金として	28,510,856
	ゆうちょ銀行	運転資金として	1,834,867	
	棚卸資産		書籍	1,638,812
	前払金		事務委託費・定期代等	611,005
	立替金		JIMTOF出展料	660,000
	未収金		補助金等	4,017,526
流動資産合計				59,196,148
(固定資産)				
特定資産	退職給付引当資産	定額貯金	退職給付の財源として積立	1,133,000
		ゆうちょ銀行		
	金属性状評価事業積立金	普通預金	金属性状評価事業に関する積立金	5,016,270
	什器備品	みずほ銀行 神谷町支店		
		金属性状評価装置	金属性状評価事業に使用	15,066,810
その他固定資産	什器備品	事務機器等		199,167
	ソフトウェア	統計ソフト等		365,220
	電話加入権			116,000
	敷金	東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館208号		1,306,740
固定資産合計				23,203,207
資産合計				82,399,355
(流動負債)				
	未払金		社会保険料等	393,822
	前受金		JIMTOF事務手数料	242,000
	預り金		源泉所得税	99,176
	未払法人税等		都民税均等割	70,000
	未払消費税等		消費税・地方消費税	484,700
流動負債合計				1,289,698
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員の退職給付引当金	1,133,000
固定負債合計				1,133,000
負債合計				2,422,698
正味財産				79,976,657

正味財産増減計算書
2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	308,000	650,000	△ 342,000
受取入会金収入	308,000	650,000	△ 342,000
受取会費	40,752,000	40,477,000	275,000
正会員会費収入	32,276,000	31,607,000	669,000
賛助会員会費収入	8,476,000	8,870,000	△ 394,000
受取補助金等	6,413,761	2,382,905	4,030,856
受取補助金等振替額	6,413,761	2,382,905	4,030,856
事業収益	32,988,701	34,279,362	△ 1,290,661
受講料収益	20,974,400	19,680,000	1,294,400
請負金収益	960,000	860,000	100,000
図書資料頒布収入	3,949,350	1,371,412	2,577,938
保険事務取扱手数料	1,012,887	1,126,571	△ 113,684
広告料	194,560	3,748,000	△ 3,553,440
見本市事務取扱手数料	0	475,200	△ 475,200
負担金収入	0	3,456,058	△ 3,456,058
負担金収入振替額	5,897,504	3,562,121	2,335,383
雑収益	7,008,920	9,685,173	△ 2,676,253
受取利息	725	644	81
雑収益	7,008,195	9,684,529	△ 2,676,334
経常収益計	87,471,382	87,474,440	△ 3,058
(2) 経常費用			
事業費	55,041,925	59,006,134	△ 3,964,209
謝金	276,800	635,341	△ 358,541
会議費	2,205,908	2,372,572	△ 166,664
会場借料	1,035,018	4,559,809	△ 3,524,791
原稿執筆料	0	2,830,000	△ 2,830,000
講演費	3,182,000	3,280,000	△ 98,000
テキスト制作費	691,200	657,180	34,020
実習費	2,310,000	2,268,400	41,600
外注費	0	746,823	△ 746,823
消耗品費	151,800	714,690	△ 562,890
給与賞与手当	12,497,225	12,761,167	△ 263,942
退職給付費用	300,300	1,731,800	△ 1,431,500
社会保険・福利厚生費	1,469,629	2,228,926	△ 759,297
旅費交通費	8,537,808	5,571,804	2,966,004
通信費	410,005	1,097,046	△ 687,041
支払手数料	842,572	792,125	50,447
ホームページ更新費	820,746	663,336	157,410
事務用消耗品費	90,871	298,381	△ 207,510
印刷製本費	1,587,461	3,462,811	△ 1,875,350
事務局借室料	3,131,773	3,585,315	△ 453,542
借室附帯費	175,448	200,394	△ 24,946
減価償却費	5,491,568	1,104,955	4,386,613
事務用機械借用料	1,201,069	1,086,473	114,596
什器備品費	283,766	116,702	167,064
図書資料費	6,490	0	6,490
租税公課	1,022,150	1,056,072	△ 33,922
業務委託費	6,172,100	3,585,600	2,586,500
広告宣伝費	932,400	0	932,400
諸会費	0	138,513	△ 138,513
表彰費	0	1,042,200	△ 1,042,200
諸雑費	215,818	417,699	△ 201,881

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	12,880,485	13,902,594	△ 1,022,109
謝金	15,000	15,000	0
会議費	1,825,705	2,208,256	△ 382,551
外注費	0	912,786	△ 912,786
給与賞与手当	4,149,430	2,417,775	1,731,655
退職給付費用	128,700	84,900	43,800
社会保険・福利厚生費	762,171	517,479	244,692
旅費交通費	428,690	2,217,060	△ 1,788,370
通信費	166,391	123,367	43,024
支払手数料	83,116	87,595	△ 4,479
ホームページ更新費	319,179	135,864	183,315
事務用消耗品費	193,642	32,410	161,232
印刷製本費	257,236	234,149	23,087
事務局借室料	1,217,912	734,340	483,572
借室附帯費	68,230	41,046	27,184
減価償却費	182,506	226,317	△ 43,811
事務用機械借用料	320,943	193,338	127,605
什器備品費	96,242	8,330	87,912
図書資料費	108,652	58,652	50,000
租税公課	64,056	103,522	△ 39,466
業務委託費	1,498,248	2,243,448	△ 745,200
諸会費	190,000	202,000	△ 12,000
諸雑費	806,436	1,106,960	△ 300,524
経常費用計	67,922,410	72,908,728	△ 4,986,318
当期経常増減額	19,548,972	14,565,712	4,983,260
税引前当期一般正味財産増減額	19,548,972	14,565,712	4,983,260
法人税等	70,000	70,000	0
税引後当期一般正味財産増減額	19,478,972	14,495,712	4,983,260
一般正味財産期首残高	40,414,605	25,918,893	14,495,712
一般正味財産期末残高	59,893,577	40,414,605	19,478,972
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	3,902,626	12,427,445	△ 8,524,819
負担金収入	2,000,000	20,009,300	△ 18,009,300
一般正味財産への振替額	△ 12,311,265	△ 5,945,026	△ 6,366,239
当期指定正味財産増減額	△ 6,408,639	26,491,719	△ 32,900,358
指定正味財産期首残高	26,491,719	0	26,491,719
指定正味財産期末残高	20,083,080	26,491,719	△ 6,408,639
Ⅲ 正味財産期末残高	79,976,657	66,906,324	13,070,333

正味財産増減計算書内訳表
2019年4月1日から2020年3月31日まで

	経営研修事業	海外調査・ 対応事業	標準化事業	広報事業	見本市・団体保 険事業	技術・ 企画事業	ギヤカレッジ	ギヤカレッジ フォロワーアッ プ 研修会	支部事業	金属性状評 価プロジェクト	管理	合計	
I 一般正味財産増減の部													
1. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	308,000	308,000	
受取入会金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	308,000	308,000	
正会員会費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40,752,000	40,752,000	
賛助会員会費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32,276,000	32,276,000	
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,476,000	8,476,000	
受取補助金等振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,413,761	6,413,761
事業収益	0	0	4,909,350	194,580	1,012,887	0	20,174,400	800,000	0	5,897,504	0	32,988,701	32,988,701
受講料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,974,400	20,974,400
講習会収益	0	0	960,000	0	0	0	0	0	0	0	0	960,000	960,000
講習会収益振替額	0	0	3,949,350	0	0	0	0	0	0	0	0	3,949,350	3,949,350
広告料	0	0	0	194,580	1,012,887	0	0	0	0	0	0	1,012,887	1,012,887
負担金収入振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	194,580	194,580
雑収益	4,082,890	0	267,481	0	652	0	290,000	45,000	697,000	5,897,504	1,625,897	5,897,504	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,008,920	7,008,920
雑収益	4,082,890	0	267,481	0	652	0	290,000	45,000	697,000	5,897,504	1,625,897	5,897,504	
経常収益計	4,082,890	0	5,176,831	194,580	1,013,539	0	20,464,400	845,000	697,000	12,311,265	42,685,897	87,471,382	
(2) 経常費用													
事業費	6,501,209	97,291	8,314,714	3,221,811	633,658	1,705,654	18,048,854	1,777,158	2,430,311	12,311,265		55,041,925	
謝金	0	0	166,100	0	0	0	55,300	28,400	0	27,000	0	276,800	
会議費	418,831	0	369,286	20,447	1,206	15,825	433,689	395,399	505,145	46,080	0	2,205,908	
会議費	0	0	0	0	0	0	1,035,018	0	0	0	0	1,035,018	
講演費	0	0	0	0	0	0	3,132,000	50,000	0	0	0	3,182,000	
テキスト制作費	0	0	0	0	0	0	691,200	0	0	0	0	691,200	
実習費	0	0	0	0	0	0	2,310,000	0	0	0	0	2,310,000	
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	151,800	
給与賞与手当	1,356,918	0	2,605,741	1,304,315	56,745	973,577	4,425,643	546,639	975,647	252,000	0	12,497,225	
退職給付費用	64,350	0	42,900	21,450	0	64,350	64,350	0	42,900	0	0	300,300	
社会保険・福利厚生費	246,443	0	155,232	248,582	2,170	182,945	353,910	96,332	184,015	0	0	1,469,629	
旅費交通費	3,598,791	75,000	1,896,387	54,592	6,918	106,926	2,219,300	155,624	250,318	173,952	0	8,537,808	
通信費	41,629	0	129,796	55,434	3,457	13,828	122,025	18,264	17,285	8,287	0	410,005	
支払手数料	134,796	0	94,799	17,707	448,344	10,360	107,966	12,153	11,841	4,606	0	842,572	
ホムコム更新費	79,795	0	205,187	102,593	11,399	45,597	262,183	56,996	56,996	0	0	820,746	
事務用消耗品費	8,228	0	26,469	10,579	1,175	4,702	27,034	5,877	5,877	930	0	90,871	
印刷製本費	22,284	0	692,794	355,650	3,183	12,734	144,982	15,917	15,917	324,000	0	1,587,461	
事務用備品費	304,478	0	782,943	391,472	43,497	173,987	1,000,428	217,484	217,484	0	0	3,131,773	
借入金利息	17,057	0	43,862	21,931	2,437	9,747	56,046	12,184	12,184	0	0	175,448	
減価償却費	45,626	0	117,325	58,662	6,518	26,072	149,915	32,590	32,590	5,022,270	0	5,491,568	
事務用機械借用料	76,976	0	217,938	98,969	10,997	43,986	618,261	78,959	54,983	0	0	1,201,069	
什器備品費	24,060	0	61,869	30,935	3,437	13,749	115,344	17,186	17,186	0	0	283,766	
図書資料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,490	
租税公課	37,160	0	179,860	10,680	31,740	0	708,860	31,740	21,160	1,050	0	1,022,150	
業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,172,100	
広告宣伝費	0	0	518,400	414,000	0	0	0	0	0	0	0	932,400	
諸経費	23,787	22,291	7,826	3,913	435	7,269	15,400	5,414	8,783	120,700	0	215,818	

	経営研修事業	海外調査・対応事業	標準化事業	広報事業	見本市・団体保険事業	技術・企画事業	ギャカレッジ	ギャカレッジ フオローアップ 研修会	支部事業	金属性状評価プロジェクト	管理	合計
管理費											12,880,485	12,880,485
謝金											15,000	15,000
会議費											1,825,705	1,825,705
給与賞与手当											4,149,430	4,149,430
退職給付費用											128,700	128,700
社会保険・福利厚生費											762,171	762,171
旅費交通費											428,690	428,690
通信費											166,391	166,391
支払手数料											83,116	83,116
ホームページ更新費											319,179	319,179
事務用消耗品費											193,642	193,642
印刷製本費											257,236	257,236
事務用備品											1,217,912	1,217,912
事務用備品											68,230	68,230
減価償却費											182,506	182,506
減価償却費											320,943	320,943
什器備品費											96,242	96,242
図書資料費											106,652	106,652
租税公課											64,056	64,056
業務委託費											1,498,248	1,498,248
諸会費											190,000	190,000
諸雑費											806,436	806,436
経常費用計	6,501,209	97,291	8,314,714	3,221,811	633,658	1,705,654	18,048,854	1,777,158	2,430,311	12,311,265	12,880,485	67,922,410
当期経常増減額	△ 2,418,319	△ 97,291	△ 3,137,883	△ 3,027,251	379,881	△ 1,705,654	2,415,546	△ 932,158	△ 1,733,311	0	29,805,412	19,548,972
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,418,319	△ 97,291	△ 3,137,883	△ 3,027,251	379,881	△ 1,705,654	2,415,546	△ 932,158	△ 1,733,311	0	29,805,412	19,548,972
法人税等											70,000	70,000
税引後当期一般正味財産増減額	△ 2,418,319	△ 97,291	△ 3,137,883	△ 3,027,251	379,881	△ 1,705,654	2,415,546	△ 932,158	△ 1,733,311	0	29,735,412	19,478,972
一般正味財産期首残高												40,414,605
一般正味財産期末残高												59,893,577
Ⅱ 指定正味財産増減の部												
受取補助金等												
負担金収入												
一般正味財産への振替額												
当期指定正味財産増減額												
指定正味財産期首残高												2,000,000
指定正味財産期末残高												△ 12,311,265
Ⅲ 正味財産期末残高												△ 6,408,639
												26,481,719
												20,083,080
												79,976,657

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品 ……定額法
ソフトウェア……定額法

(3) 引当金の計上方法

退職給付引当金……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	704,000	429,000	0	1,133,000
金属性状評価事業積立金	6,402,639	2,000,000	3,386,369	5,016,270
什器備品	20,089,080		5,022,270	15,066,810
合計	27,195,719	2,429,000	8,408,639	21,216,080

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	1,133,000	-	-	(1,133,000)
金属性状評価事業積立金	5,016,270	(5,016,270)		
什器備品	15,066,810	(15,066,810)		
合計	21,216,080	(20,083,080)	0	(1,133,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品(特定資産)	20,089,080	5,022,270	15,066,810
什器備品	1,117,124	917,957	199,167
ソフトウェア	5,356,800	4,991,580	365,220
合計	26,563,004	10,931,807	15,631,197

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
機械の信頼性向上のための鋼材評価新手法のフィールド評価とJIS規格原案の作成補助事業	公益財団法人 JKA	10,044,540	3,902,626	6,413,761	7,533,405	指定正味財産

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による振替額	12,311,265
合計	12,311,265

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載しているため、記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	704,000	429,000			1,133,000

監査報告書

2020年 5月25日

一般社団法人日本歯車工業会
会長 栄野 隆 殿

監事 小松 滋



監事 矢都木 力



私たち監事は、2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、本会の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

2. 監査の結果

(1)事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、本会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重要な事実は認められません。

(2)計算書類及び附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、本会の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

